

京都教区時報

<https://www.kyoto-catholic.net/>

カトリック京都司教区
広報委員会

京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

第6回 イエスの道を父なる神へ

2024年 司教年頭書簡

わたしのシノダリティを創ろうⅡ

シノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教

を受けて



今年、大塚司教様は年頭書簡で、今回のシノドスを契機として、日本の教会が教会の本質であるシノダリティ（共に歩むこと）の精神で宣教するためにどう生きればよいか考えようと呼びかけてくださいました。また、日本から参加された方々も、今回のローマでのシノドスの新しい取り組みの様子を「福音宣教（1月号・オリエンス宗教研究所発行）誌上で分かち合ってくださいました。司教様の年頭書簡を改めて読み進め、「サマリヤ人は神の憐れみを体現しているイエスご自身なのです」という言葉に衝撃を受けました。イエス様ご自身をこのサマリヤ人になぞらえていると考えたことがなかったのです。

同胞の祭司やレビ人が助けなかった瀕死のけが人を、ユダヤ人から排斥されているサマリヤ人が助けました。手厚い世話を受けるけが人、イエス様ご自身であるサマリヤ人、手助けする宿の主人、この小さな集いが、ちょうどローマのシノドスで全ての参加者が同じテーブルについて話し合った輪の一つのように思われて嬉しくなりました。両方の輪の中にイエス様の生き生きとした息づかいを感じます。これがシノダリティを生きる教会の姿でしょう。イエス様の姿は目に見えませ

んが、メンバーに働きかけておられます。イエス様こそシノダリティを生きるキリスト者の姿なのです。この輪の中で黙しているけが人は私でもあり、私たち一人ひとりでしょう。体と心に受けた傷はサマリヤ人の優しさで癒され、喜びに満ちて、「宿」から新たな一歩を踏みだしていくでしょう。

私たちも今、新たな出発点に立っています。シノダリティの精神で、神の愛を人々に知らせ、真の幸せへと導く神なる父への「道」をイエス様と共に行こうとしています。「全世界に行って福音を宣べ伝えなさい」という声が聞こえてきます。私たちの教会も世界も混沌としています。イエス様と友情の絆で結ばれている使徒である私たち一人ひとりが、互いに愛しい、喜びながら、聖霊に導かれ、素朴に開かれた心で人々と出会いましょう。人々が私たち一人ひとりの生きる姿に神を見出しますように。

「世の終わりでいつもあなたがたと共にいる」というイエス様の力強い声が聞こえています。

ノートルダム教育修道女会

シスター 森 由子

大塚司教年頭書簡は

こちらから



7
2024



日本の司教団 9年ぶりの

アド・リミナ

京都司教 パウロ 大塚喜直

2024年4月8日から13日まで、日本の司教団は9年ぶりにアド・リミナのためにローマを訪れました。アド・リミナ(ad limina)とは、アド・リミナ・アポストロルム(Ad limina apostolorum)の略で、「使徒たち(聖ペトロと聖パウロ)の墓所へ」を意味し、すべての司教が定期的にローマを訪ねます。ローマ滞

在中、司教団は教皇に謁見して日本の現状を報告し、ローマ教皇庁の省庁を訪ねます。

15教区17名の司教が参加

今年の訪問には、日本の全15教区から17名の司教が参加しました。



わたしは今回で4回目のアド・リミナでした(2001年教皇ヨハネ・パウロ二世、2007年教皇ベネディクト十六世、2015年教皇フランシスコ)。

各省庁を訪問

8日から11日までの4日間、各省庁を訪問しました(次頁参照)。教皇フランシスコは効果的な福音宣教を推進するために2022年使徒憲章『プレディカト・エバンジェリウム』を發布し、教皇庁組織は16の省庁に再編成されています。ほとんどの省庁のオフィスはバチカンに近く、宿舎から徒歩10分ほどの建物に集まっているのですが、3つの省庁はローマ市内に点在しています。来年2025年の「聖年」の準備でローマ市中心部はいたるところインフラ工事が行われ、移動は大変でした。

各省庁の長官はわたしたち司教団に対し、それぞれの省庁は日本の教会と各教区の司牧活動を支援するために存在していますと強調されました。わたしは、司教協議会で担当している委員会と関係する部署として、列聖省(高山右近の列聖を求める列聖推進委員会)、聖職者省(日本カトリック神学院の開校関連)、文化教育庁(神学校の学事関係)、諸宗教対話省(日本諸宗教部門)、使徒座署名院(日本の3つの管区裁判所・婚姻訴訟関



係)、教皇庁立ウルバノ大学(神学校学事関係)で報告しました。

いよいよ教皇謁見

12日、聖ペトロの墓前でミサをささげた後、教皇フランシスコとの謁見が行われました。教皇は司教たち一人ひとりを温かく歓迎してくださり、自由な雰囲気の中で話し合いが行われました。以前の

教皇とは個別に面談したのですが、教皇フランシスコからは教皇と司教団が車座に会し意見交換を行う形式になりました。日本側からは、まず能登半島地震の際のお見舞いへの御礼、また2019年の訪日の御礼を申し上げました。そして日本の教会は訪日のテーマであった「すべてのいのちを守るため」に基づいて、教皇から託されたいのちのことばを一人でも多くの人々に伝えるため、社会に出掛けて行き、弱く貧しい人に寄り添う福音宣教に取り組んでいることを報告しました。

シノドス後の教会は

わたしは教皇に、この度のシノドス後どのような教会を夢見ておられるのかと質問しました。教皇は「イエス様に言ってもらってください」とユーモアを交えて次のように話されました。「教会は第2バチカン公会議から60年間シ



ノダリティについて考えてきたのであり、シノドスの教会とは新しいことではない。シノダリティはイデオロギーにしてみいけないし、民主主義のこともない。司教、司祭、修道者、信徒が一つになって教会を作っていくことが大切である」。最後に教皇は「司教はユーモアの感覚も失わないように。そして、わたしのために祈ってください。わたしも皆さんのために祈ります。前進してください」と締めくくられました。

さらなる日本宣教の実りを願って

最終日13日、城外の聖パウロ大聖堂を巡礼し、聖パウロの墓前でミサを捧げることで、この重要な訪問を終えました。わたしたち司教団はこのアド・リミナによって、あらためて使徒の後継者であることと、教皇とローマ教皇庁との結びつきを確認し、さらなる日本宣教の実りを使徒たちの取り次ぎによって、主イエス・キリストに願いました。



2024年日本司教団 アド・リミナ スケジュール

4月8日(月)

聖職者省 文化教育省 国務省
奉獻使徒的生活会省 諸宗教対話省
キリスト教一致推進省

4月9日(火)

いのち・信徒・家庭省 総合人間開発省 教理省 支援援助省 シノドス事務局

4月10日(水)

典礼秘跡省 福音宣教省 初期宣教師部門 広報省

ローマ在住の司祭や修道女との夕食会

4月11日(木)

福音宣教省 世界宣教部門 列聖省
ウルバノ大学

教皇庁未成年者保護委員会

使徒座署名院最高裁判所

バチカン美術館事務所

駐バチカン日本大使館

4月12日(金)

聖ペトロ大聖堂墓前ミサ
教皇フランシスコ謁見

4月13日(土)

聖パウロ大聖堂墓前ミサ



河原町カトリック会館 完成 京都司教区本部事務局 引越

竣工祝福式

長い間、工事の幕に覆われていた河原町教会の前庭。工事期間は2年と27日、準備期間もあわせると約4年半にもおよぶ工事がようやく終わり、河原町カトリック会館とヒルトン京都の竣工祝福式が、5月23日、大塚司教と司祭団によって行われました。

開祭で「恵み深い神よ、わたしたちはこの恵みを感謝いたします。これらの建物で働く人々と、建物を訪れる人々の上に、神の豊かな祝福をお与えください」と祈られ、共同祈願では「京都司教区に新しいカトリック会館をお与えくださり、感謝いたします。わたしたちがこの建物を通して、力強く福音宣教を行うこ



とができますように」と祈りました。

献身的に働いてくださったすべての工事関係者のために、祝福がありました。

カトリック信愛幼稚園の年長組の園児の皆さんが、お祝いの歌として「ありがとうかみさま」を歌ってくださいました。

「ありがとうございます、ありがとうございます。たくさんのおめぐみを。ありがとうございます、かみさまありがとうございます。わたしたちのため♪」子どもたちのかわいい歌声に、厳肅な式の雰囲気が緩み、参列していた工事関係者とホテル関係者の皆さんに笑顔が浮かんだのは印象的でした。

最後に、「カトリック会館とホテルで働く人を祝福し、力づけてください。日々の奉仕を通して、訪れる人々と喜びと平和を分かち合うことができますように」と祈られ、派遣の祝福がありました。

施設紹介

河原町教会の前庭の1階部分には、南側に河原町教会の集会室が、北側にカトリック会館の入り口があります。河原町通りに面した西側には、サンパウロ京都宣教センターの店舗が入り、6月16日より営業が開始されました。

京都司教区本部事務局は、カトリック会館の地下1階と2階部分に入り、業務を行います。ご用の方は1階の受付で訪問先を告げて記名をしていただきます。地下2階には大ホールができましたので、教区の行事はこの大ホールで行われ

ることになります。

駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しいただきますようお願いいたします。

ご案内など慣れるまでご不便をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会



カトリック会館入口

河原町教会1階集会室

サンパウロ店舗

カトリック京都司教区 ハラスメント相談窓口

ひとりで悩まないで、相談してください。



075-223-3363

受付時間：月・火・木曜日
10:00～16:00

不在の場合もありますので、不在時にはメッセージを残してくださると、後日おかけ直します。

電話番号が変更のお知らせ

教区事務局の移転に伴い、電話番号、FAX番号が変更されましたので、下記の電話番号をご登録くださいますようお願いいたします。

京都司教区本部事務局

075-211-3025/FAX075-211-3041

衣笠墓苑管理委員会 075-223-3345/FAX075-211-3041

福音宣教企画室 075-223-3336/FAX075-211-3041

聖書委員会 075-223-3339/FAX075-211-3041

正義と平和協議会 075-223-3340/FAX075-223-3371

大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

075-223-3340/FAX075-223-3371



DEO. VIVO. ET. VERO. IN. HONOREM. S. FRANCISCIXAVER. C. PRIMI. IAPON. APOST. AN. DNI. MDCCCXC.

1890年、日本最初の使徒聖フランシスコ・ザビエルの栄誉のために、生けるかつ真の神に捧げる（河原町教会100年史より）

河原町教会の旧聖堂は、聖フランシスコ・ザビエルに捧げられています。また、現在の聖堂も聖フランシスコ・ザビエルに捧げられています。その連続性を表すために、旧聖堂と同じ碑文を教会の正門に掲げました。フランシスコ・ザビエルが京都の地で、京都教区の福音宣教を見守ってくださることを願います。



地下2階 大ホール



地下1階 教区本部事務局

侍者合宿を5年ぶりに

3月25日～27日

信仰教育委員会担当司祭 小立花 忠

5年ぶりに侍者合宿を京都市の洛星中学校高等学校宗研館で行いました。5年ぶりですからスタッフたちも「前はどのようにしてた？」などと手探りで様々な問題をクリアしながらの運営でした。

5年前と比べると、随分と変わってしまったこともありました。洛星さんの食堂での食事の提供がされなくなったり、少子化によって参加者が少なくなっていたり、外国にルーツを持つ子どもたちの参加が増えたり…。今年は特にリーダー・スタッフが参加者の小学生よりも



3倍近くの人数になりました。リーダーやスタッフの皆さんが非常に熱心に関わってくださったので、無事に終わることができました。心から感謝しています。

さて、コロナ以

前からあったのですが、このような合宿では「発達障害・ジェンダー・アレルギ―」などをどのように克服していくのが課題となっているように思っています。昔のように全員一緒に行動する画一的なスタイルの合宿ではなく、参加者一人ひとりに寄り添いながら個性を大切にするようなスタイルの合宿をどのように作れば良いのか悩みます。神様がお造りになった子どもたちの個性を失うことなく生かしていく、子どもたちが「行ってみよう」「参加してよかったな」と思えるような侍者合宿になるように願います。

最後にご奉仕させていただいた聖



香油ミサの後の子どもたちの爽やかな、キラキラした笑顔には救われました。また、参加人数は11人と少なかったのですが、参加者が小教区でも喜んで侍者奉仕してくれるようになったことにも神に感謝したいと思います。

〈お詫びと訂正〉

教区時報 5 月 1 日発行 (558号) 4 頁に掲載した報告書に誤りがございました。差し替え願います。

2024年 5 月 1 日発行 (558号)

京 都 教 区 時 報

(4)

教会名	信徒総数		ミ　サ　参　加			求道者	洗　　礼		堅　信	結　婚	転　入	転　出	死　亡	教会学校		
	2022年	2023年	主　日	復活祭	クリスマス		幼　児	成　人						信	非	
奈良ブロック																
24　　富　　　雄	315	311	50	80	80	0	1	3	2	0	0	1	4	0	0	
25　　登美が丘	523	519	80	120	120	3	0	2	2	0	2	4	4	8	101	
26　　奈　　　良	1,055	1,051	150	140	200	1	1	3	4	1	1	1	8	10	1	
27　　大和郡山	343	340	50	70	80	0	0	0	1	0	3	0	6	6	0	
28　西大和カトリックC	251	260	35	65	85	0	0	1	1	0	9	0	1	9	0	
29　　大和　高田	272	254	60	65	77	2	0	0	1	2	1	9	4	0	2	
30　　大和　八木	321	322	45	120	110	0	0	4	6	0	3	2	4	0	0	
31　　御　　　所	128	128	20	35	40	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	
奈良県合計	3,208	3,185	490	695	792	6	3	14	18	3	19	17	33	33	104	
滋賀ブロック																
32　　安　曇　川	87	88	19	62	43	1	0	0	0	0	1	0	4	0	0	
33　　唐　　　崎	283	279	35	70	90	0	0	1	4	0	0	3	2	30	6	
34　　大　　　津	552	550	95	162	210	0	0	2	3	0	7	0	6	20	4	
35　草津(含甲賀)	713	710	150	375	475	5	9	2	3	3	1	3	11	0	0	
36　　彦　　　根	275	271	127	175	320	0	5	1	24	2	0	2	5	31	1	
37　　長　　　浜	98	108	50	160	160	6	6	6	8	2	0	0	2	3	5	
滋賀県合計	2,008	2,006	476	1,004	1,298	12	20	12	42	7	9	8	30	84	16	
三重北部ブロック																
38　　桑　　　名	286	294	100	199	201	0	4	0	0	0	2	5	3	0	0	
39　　四　日　市	683	662	136	299	423	1	48	21	22	4	1	8	14	11	1	
40　　鈴　　　鹿	352	350	60	200	200	0	5	7	18	8	0	0	2	27	0	
小　　計	1,321	1,306	296	698	824	1	57	28	40	12	3	13	19	38	1	
三重南部ブロック																
41　　上　　　野	402	408	80	150	150	6	5	4	8	1	0	0	3	46	7	
42　　名　　　張	230	227	30	50	50	0	0	0	1	0	0	2	1	8	0	
43　　　　　　津	407	411	120	150	170	2	11	3	6	0	0	1	9	0	0	
44　　久　　　居	178	172	35	80	100	0	0	0	0	0	1	4	2	20	7	
45　　松　　　阪	309	307	30	120	180	0	21	7	8	0	0	3	0	0	0	
46　　伊　　　勢	157	152	40	40	105	0	0	1	1	0	1	0	5	0	0	
小　　計	1,683	1,677	335	590	755	8	37	15	24	1	2	10	20	74	14	
三重県合計	3,004	2,983	631	1,288	1,579	9	94	43	64	13	5	23	39	112	15	
総　合　計	17,439	17,313	2,970	5,477	6,972	57	153	131	202	57	102	107	221	366	141	

2023年12月31日
カトリック京都司教区
本 部 事 務 局

以下は参加者の感想文から抜粋させていただきます。

・「永遠の大祭司は見えない世界（天国）と見える世界（この世）をつないでくれる人」と習いました。このことは、これから覚えておいて、人に聞かれた時に、教えられるようにしたいです。

・イエス様、神父様、リーダー、班のみんなに助けられました。これからも侍者、絆、経験、み言葉を大切に歩んでいこうと思います。

・みんなと仲良くなって、侍者のやり方や道具のことも、もっと知ることができてよかった。

・道具の名前は多すぎて、頭がこんがらがりました。朗読練習は、いろいろなヒントをもらってうまくできました。



・練習しながら、仲間との仲が深まりました。また、わからないことがあったら、リーダーたちが助けてくれて、うれしかった。

・侍者合宿で侍者のやり方がわかったので、もっとできるようになりたいです。



主なプログラム

1日目

大塚司教のお話
班活動（班長決定）・歌練習
侍者心得・侍者練習

2日目

ミサ

侍者練習・朗読練習・答唱詩編練習
遠足（京都鉄道博物館）
お風呂（銭湯）

3日目

聖香油ミサ
修了証書授与



正義と平和協議会 学習会

東アジアと日本

なぜ朝鮮半島の研究をしようと思っただのか？

講師 太田修さん

(同志社大学グローバル・スタディーズ
研究科教授)

大塚喜直司教授挨拶

京都教区正義と平和協議会の学習会にお越しください、ありがとうございます。
私たちは長年、正義と平和、差別問題などに取り組んできました。そしてその歴史的な背景などを学習しながら、現代にまだ残っている問題について考えを深めています。

ご存じのように、京都教区は韓国のチェジュ教区と姉妹教区縁組を結んで、来年20年になります。
私たちも韓国にたくさんのお友達ができまし、韓国に行く機会も増えましたが、正しい情報をもっと更新



しなければならぬと感じています。
今日は、太田先生をお招きして先生のご研究を通して、私たちも、韓国の歴史と日本の関係について学びを深めたいと思います。

報告・京都教区正義と平和協議会

古屋敷一葉(援助修道会会員)

4月20日(土) 河原町教会ウィリオンホールにて、学習会が行われました。20名が参加しました。

多くの人との出会いを通して

講師の太田修先生は、朝鮮近代史、および近現代日朝鮮関係史が専門です。先生は講演の準備にあたり、日記などを見直して、驚きやはずかしさ、反省、後悔といった気持ちを持ちつつ内観する良い機会を持つことができたと言われました。そして、研究の道に入ったのは何か重要なきっかけがあったのではなく、さまざまな体験や思考の積み重ねの結果であると振り返られました。

高校生の頃は、ヨーロッパ近代へのあこがれがあり、朝鮮半島はさほど意識していなかったそうです。同志社大学の

大学生になってから、偶然に喫茶店「ほんやら洞」(懐かしいと感じられる世代の方もおられるかもしれない)で声をかけられて「鳳仙花の会」に出会い、韓国民主化運動に連帯する集まりや朝鮮語の学習にも参加するようになります。そして在韓被爆者の方との出会いや、学生でありながら労働現場に入っていたソウルの友人との文通を介して、歴史を学ぶ必要性や韓国留学への思いが強まります。

韓国への留学

大学卒業後もいろいろな仕事をしながら、東九条での「民族民衆文化牌ハンマダン」に参加して地域での文化運動を展開します。東京や大阪にもあった運動ですが、在日朝鮮人のみ参加していましたが、東九条では日本人が参加することについての議論があり、在日朝鮮人史を学びたいと思われたそうです。このころはフィリピン革命が起き、韓国民主化がなされました。民衆の声に真摯に耳をかた



講師の太田さん



むけるべきと感じられるときでした。何
度か韓国を訪れ、韓国の民主化を学ぶ中
で、留学を決心し、日本の植民地支配責
任を考えることが重要だと思いを強めら
れます。

高麗大学韓国史学科大学院に留学され
てからは、研究テーマを1951年から
1965年にかけて行われた日韓会談に
定め、日本と朝鮮の人々が植民地支配や
戦争をどう考え、向き合ったのかを探る
日々でした。このころは東西冷戦が終わ
り、元日本軍「慰安婦」の方や強制動員
労働者らの戦後補償運動が本格化したと
きでした。学生たちには社会主義へのあ
こがれもありましたが、社会主義国家の
崩壊の中で、どうしたらよいのかと問う
たこともあったそうです。そして、通訳
として強制連行の足跡をたどる旅や、日

韓民衆連帯運動などとの交流に関わるこ
とからも、歴史や社会問題に向き合われ
ました。

平和で友好的な関係を築くために

先生の偶然が重なったという出会い、
多くの友人たちとの関係性の中で深めら
れた思いが、今、平和で友好的な日本と
朝鮮半島、東アジアとの関係を築くため
には、植民地支配、戦争被害の歴史に向
き合い、「過去の克服」(植民地支配下の
戦時動員被害の真実究明、責任、謝罪、
補償、歴史記憶の継承)を考え、実践し
ていきたいとの望みにつながっている
ということがわかるお話でした。

講演後の質疑応答では、参加者の朝鮮
半島との関わりについての分かち合いも
含めたやりとりとなりました。聞いて学
ぶだけではなく、自分に問い、深める学
習会になりました。

講演の詳細は、京都教区正義と平和協
議会ニュースレター「てくてく」に掲載
されますので、
そちらも合わせ
てお読みくだ
さい。



京都教区 正義と平和協議会 今後の活動予定

- 映画上映「放射能を浴びたX年後Ⅱ 父はなぜ死んだのか」
日時：7月20日④14:00 場所：河原町教会ヴィリオンホール
出演者の川口美砂さん来場
- 第17回戦争と平和写真展「沖縄・フクシマ・東アジア」
日時：8月10日④14:00～20:00 11日④ 7:40～15:30
場所：河原町教会ヴィリオンホール
- 映画上映「悲しみの星条旗」 講演 エイミ・ツジモトさん「悲しみの星条旗」企画統括
日時：8月10日④14:00
- 10月14日④⑥ 現地学習会「大阪コリアン歴史資料館とカトリック生野教会を訪ねる」
- 映画上映「放射能を浴びたX年後Ⅲ サイレント・フォールアウト～乳歯が語る大陸汚染」
日時：11月16日④14:00 場所：河原町教会ヴィリオンホール
上映会前に、伊東英朗監督の講演あり

それぞれの行事の詳細は、京都教区時報のお知らせや京都教区のホームページでご確認ください。

宮津洗者聖若翰^{ヨハネ}天主堂

国重要文化財指定記念ミサ

5月6日

京都府北部の宮津市にある宮津洗者聖若翰天主堂が、京都府の指定文化財に登録された記事を、京都教区時報2023年2月号に掲載しました。それから約1年後の今年1月、今度は国の重要文化財に指定されました。

現役最古級の聖堂

宮津教会は1896（明治29）年、パリ外国宣教会のフランス人宣教師、ルイ・ルラブ神父の設計で建立され、今年で128年になりました。現役の聖堂としては、日本で最古級の聖堂のひとつです。

外観は瓦屋根にロマネスク様式を基調とし、内部はフランス風の構造に木造・畳敷きという和洋折衷で、色鮮やかなステンドグラス風の窓が美しく、建材には丹後半島

で伐採されたケヤキが使われています。カトリック教会の聖堂とし



て全国でも初期に建築され、明治中期のおもかげをとどめる貴重なものです。

大塚司教による記念ミサ

5月6日は宮津

教会の献堂記念

日。この日に合わせ、国重要文化財指定記念ミサが、

カトリック丹後教会宮津教会堂にて、大塚司教と瀧野神父、京都北部ブロック担当司祭



団によって行われました。地元丹後の信徒の皆さんの心のこもった力強い歌声が美しい聖堂に響き渡り、128年もの間引き継がれてきた祈りの場を、今後もこの地で守り続ける責任と覚悟を感じました。

現在は丹後教会宮津教会堂

かつて丹後地方には「宮津」「網野」「加悦」「丹後大宮」「峰山」「岩滝」の6つの小教区がありましたが、2016年に「カトリック丹後教会」として一つの小教区に統合されました。現在は「カトリック丹後教会」のあとにそれぞれ、「宮津教会堂」「網野教会堂」「加悦教会堂」「丹後大宮礼拝堂」「峰山礼拝堂」「岩滝礼拝堂」という名称になっています。

今まで宮津教会の信徒の皆さんが守ってこられた宮津天主堂を、丹後教会の信徒の皆さんが力を合わせ、支え、守っておられる様子が伝わってきました。

今後の維持・管理のためにお願い

ミサの最後に、頭島光神父より

「今後、修理や補修のために多額の費用が必要になりますので、皆さんのご協力をお願いいたします」とお話がありました。



クラウドファンディングなども検討されるそうです。京都教区内の皆さまのご協力もお願いいたします。

静かな聖堂に座っていると、多くの人の祈りが捧げられた聖堂の重みがひしひしと伝わってきます。国の重要文化財に指定された聖堂に、ぜひ一度足を運んでいただき、聖堂の美しさを目に焼き付けてください。なお、聖堂内の写真撮影は禁止となっていますのでご協力ください。

写真提供／おばたとしお 平竹恵
広報委員会 原山裕子

こんにちは シスター 共同宣教司牧担当者のシスターの紹介シリーズ

洛東ブロック シスター テッシー・ジョージ (カルメル宣教修道女会)

私はカルメル宣教修道女会のシスターテッシー・ジョージと申します。インド出身で6年前に来日し、現在は洛東ブロックで活動しています。

「私は神の栄光が私を呼ぶところならどこへでも行きます」。創立者 フランシスコ・パラウのこの言葉に触発され、私は宣教師として日本に来ることを決意しました。日本に来て、使徒職を通して人々に神の愛と憐れみを広めることができ、幸せです。

私がしていること、そして今の私があるのは神の恩寵のおかげであり、私は他の人々がイエスを知り、信じることができるように導く神の道具にすぎないと固く信じています。

私の宣教師としての召命という賜物を主に感謝し、神の栄光を宣べ伝え、神の民の皆さんと共に、希望の巡礼者としてシノダリティの旅をすることができるよう祈ります。



2024年度 京都カトリック青年センター運営委員紹介②

先月号に引き続き2024年度の京都カトリック青年センター運営委員を紹介します！

滋賀地区

✿ ガブ (長浜教会)

💬 2年目の新人ですが、これからも頑張ります！



任期：2024年4月1日～2025年3月31日



事務員

✿ 池田瑠智亜

💬 京都教区の青年同士が深いつながりを持ち続けることができるように、頑張ります！

つながりネットワーク 深めようコミュニケーション

京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を超える青少年活動について
京都教区の窓口となるとともに、京都教区内の各教会、
青年の各諸活動をバックアップするための機関です。



← 青年センターのHPも
見てね！

青年センターあんでな

お知らせ

司 教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



教 区

正義と平和協議会

映画会「放射線を浴びたX年後II

父はなぜ死んだのか」

日 時：7月20日④ 14:00

場 所：河原町教会ヴィリオンホール

参加費：会場にて支援金をお願いします

問合せ：075-223-3340 正義と平和協議会

福音宣教企画室

～シノドスの歩みのために～

第二バチカン公会議を学ぶ(7月～来年4月全7回)

<オンライン講座と対面の分かち合い>

申し込み方法など詳細は京都司教区HP、または小教区に掲示のポスターをご覧ください。

第1回「啓示と教会の刷新ー啓示憲章ー」

講話ーオンライン (ZOOM)

日 時：7月12日⑤ 19:30～20:45

講 師：一場 修神父 (マリスト会)

分かち合いー対面

(会場/河原町カトリック会館)

日 時：7月19日⑤ 13:30～15:30

(希望者のみ、定員18名)

問合せ：福音宣教企画室 075-223-3336



聖書委員会

オンライン聖書講座

「マルコ福音書を読むー

まことのイエスと出会う」開講中

問合せ：聖書委員会 075-223-3339

seisho@kyoto.catholic.jp



広報委員会

教区時報9月号の原稿締切日は7月22日④です。



ブロック

奈良ブロック

「聖書を学ぶ会」テーマ: 典礼暦を学ぶ (全4回)

第4回「世の終わりと私たちの信仰」

講 師：英 隆一朗神父 (イエズス会)

日 時：7月6日④ 11:00～12:30

場 所：奈良教会

会 費：1,000円

問合せ：田中博文 090-7886-2322 (13:00～20:00)

nara-bible@ymail.ne.jp

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

7月14日④ 14:00 聖歌練習

7月27日④ 17:30 練習後、ミサ奉仕

場 所：河原町教会聖堂

問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーロ・チェレステ (女声コーラス)

練 習：7月11日④ 10:00 25日④ 10:00

場 所：河原町教会2階楽廊

新会員募集中

問合せ：075-561-5971 駒井和子

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会 (聖書と典礼)

日 時：7月16日④ 13:00～15:00

場 所：河原町教会地下ヴィリオンホール

申込・問合せ：Tel・Fax 075-723-1135 傳 裕子

心のともしび

ラジオ番組案内 (全国34局で放送)

7月のテーマ「光と影」

KBS京都 ④～⑤ 朝5:55

④ 朝5:15

ラジオ関西 ④～⑤ 朝5:00

④ 朝6:05

毎日放送 ④～⑤ 朝5:45

④ 朝4:55



皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。

Tel・Fax/072-722-0271